

## 腎臓内科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 当科における高齢者ネフローゼ症候群の検討

[研究機関] 北海道医療センター腎臓内科

[研究責任者] 北海道医療センター 腎臓内科医長 山村 剛

[研究の目的] 原発性ネフローゼ症候群の治療としてステロイド、免疫抑制剤を主体とした治療を選択する場合も多くありますが、高齢者の場合、副作用や合併症の危険などを考慮し、実際には利尿剤、ARB などの腎保護療法を選択せざるを得ないことも多いです。また、近年高齢者のネフローゼ症候群の発症は増加傾向にあるにもかかわらず、実際にはその治療に関し、一定のコンセンサスが得られているとは言えません。そこで、今回、私達は当科に入院し、加療を行ったネフローゼ症候群の症例のうち、70 歳以上の高齢者についてその治療、合併症および予後等について検討します。

### [研究の方法]

#### ●対象となる患者さん

平成 22 年 3 月から 24 年 10 月までに当科に入院し、加療を行ったネフローゼ症候群の症例のうち、70 歳以上の高齢者 27 例（男性 12 名、女性 15 名）についてその治療、合併症および予後等について検討します。

#### ●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、尿中の蛋白治療、尿中 Cr、および血清 Cr 値。

### [個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

### [問い合わせ先]

北海道札幌市西区山の手 5 条 7 丁目 1 - 1

北海道医療センター腎臓内科 担当医師 山村 剛

電話 011-611-8111 FAX 011-611-5820